

## 令和2年度 第2回学校運営協議会議事録

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大による影響を勘案し、会議の開催を断念することになりました。代替措置として、各学年、分掌等の進捗状況を学校運営協議会委員の方々に送付し、それについてメールあるいはFAXでいただいた意見をまとめ、学校運営協議会委員の確認、了承を得たものを、「令和2年度 第2回運営協議会議事録」とさせていただきます。

[委員] 田中満公子委員、今西邦夫委員、井上博史委員、坂部弘重委員、  
澤尾淳心委員、西端律子委員

### 1. ①読売教育賞、全国高校生フォーラムの受賞、おめでとうございます。

生徒の皆様、先生方のたゆまぬ努力の賜物と思います。

これを何らかの形でもっと世の中に情報発信できるとよいのではないのでしょうか。

具体的には、実践研究のような形で、より実践を一般化できることを考えてみてはいかがでしょうか？

- ありがとうございます。これまでご支援いただいたすべての方々にこの場を借りまして御礼申し上げます。今年は久しぶりに国内にいる夏休みとなり、少し時間が取れましたので、SGP 副主任の大塚教諭の助けも借りて、思い切って応募いたしました。生徒の活動は様々な場所で賞をいただいたりして評価していただいておりますが、指導実践側として三国丘高校が評価していただくことは、教員にとって励みになりました。  
さて、実践の一般化についてですが、幸い、本校の実践を発表する機会を複数回いただいております（例：文部科学省 HP「成果を上げた SGH 校」オリジナルツール紹介、SGH 連絡協議会において実践発表、自民党文部科学部会にて実践発表、大阪教育大学連合教職大学院での講義など）。今後も、積極的に発信させていただく所存です。

### ② 読売教育賞「学校づくり・カリキュラム」部門最優秀賞のご受賞おめでとうございます。先生方のご尽力の賜物だと思います。

1年生のSGP選抜で2割程度（10名）落選していますが、これは受入れ先（先方）の人数を厳格に制限する必要があったからでしょうか？

来年度もオンラインが続くようなら、まだ1年生ですので、意欲重視で、できるだけ採用してあげた方がよいのではないのでしょうか。失敗も含めて、経験は大きな財産になると思いますので。

- 選考においては、例年、「海外研修に連れていくことのできる人数」と、「SGPの学びに興味を持ってついてくることができるか」の2点について複数名の教員で判断し、参加者を決定させていただいております。以下、人数と選考方法の2点についてご説明させていただきます。  
まず、人数ですが、米国リーハイ大学・国連研修は30名、フィリピン・リーダーシップ研修は20～25名、合計50～55名の生徒を募集しております。フィリピンの参加生徒上限が25名なの

は、付添教員は基本的に3名で、校長が参加し4名体制になることも多いですが、それでも途上国に連れていく生徒数としては、安全や健康管理上の理由から25名が限界であるという判断からです。幸い、これまでは大きな事故もなく無事帰国しておりますが、安全な場所で活動しているとはいえ、いつもかなりの緊張感を持って実施していることをご理解いただければと思います。

また、選考方法ですが、例年作文と面接を実施しております。今年度は作文のみで選考させていただきましたが、作文の内容がSGPの活動にあまり関係がない場合は、不合格としました。これは、SGPの課題研究活動が高校生の域を超えた高度でタフなものであることから、SGPの活動目的を十分理解し、学びたいという意欲をしっかりと持っていないと続かないからです。今年についても、そのような視点から選考させていただきました。

2014年のSGHのスタート時は1学年40名の募集でしたが、現在はそこから10~15名増員しております。行き届いた指導をするためには、正直に申し上げて限界を感じております。オール文理学科となり、全生徒が課題研究をするようになって全教科体制で取り組んでおりますが、担当できる教員数にも限界があることから、このような実情になっております。ご理解いただけましたら幸いです。

③読売教育賞 最優秀賞おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。皆さんがかいた汗が、このような形で認められましたこと、とても嬉しく思います。同窓会やPTAなど支えてくださった方々もよろこんでおられることと思います。

- SGHの指定期間が終わった後も、SGPとして継続できているのは、ひとえに同窓会やPTAの皆さまのお力添えのおかげです。本当にありがとうございます。生徒が取材を申し込んだ企業などにも卒業生や保護者の方々がいらっしゃることが多く、期せずしてご協力を得ることも多いです。いつも本当に感謝しております。SGHの卒業生が「講師として三国丘に戻ってきた」と言っているのをよく聞きます。将来、自分たちが受けたご恩を後輩たちへ還元してくれば、と願っております。

2. 今は国際情勢やコロナ禍など、世界中でいつ何が起きるか分からない時代となりました。

三国丘高等学校の教育カリキュラムは、創意性や生徒の自主性、行動力、柔軟性を養う上で、正にグローバルリーダーを育成するのに相応しいと感じております。

令和2年度は海外研修が中止になりましたが、代わりにリーハイ大学と5日間のオンライン研修など企画が素晴らしく、マニュアルでも、デジタルでも、どんな状況でも対応できる、将来のグローバルリーダーの人材育成に、これからも引き続き努めていただけることを願っております。

- リーハイ大学が5日間、13時間の時差にもかかわらず、教授陣や大学生もたくさん出てきてくれて内容の濃いオンライン研修を実施してくれたことは、本当にありがたいことでした。最終日に教授陣の前で生徒たちが英語でプレゼンをしたときは、本当に感激しました。改めてアメ

リカの国力というものも実感しましたし、オンライン研修のノウハウが学べたことも三国丘にとっては大きいことであったと思います。今年も、もし渡航できない場合は、フィリピンのエンドラン大学やアジア開発銀行ともオンラインで何かできないか検討してみようと思っています。

リーダー育成という観点からは、今まではマッキンゼーの評価方法やスタンフォード大学の起業家講座、アジア開発銀行の問題解決の分析法「Logical Framework」など、様々な外部の知見をカリキュラムに取り込んで実践しておりますが、今年新たに立教大学のリーダーシップ育成実践も1年生の研修に取り入れてみました。これからも新しいチャレンジを続けていきたいと思っております。

3. ①年度初めは後援会からwifiなどを借りられたよし、こちらも安心いたしました。

GIGA スクール施策において、高校ではネットワーク整備があったかと思いますが、その後、いかがでしょうか？ また、一人1台端末は、どのようにお考えでしょうか？

低所得世帯には国からの補助もありますが、、、このあたりは現状と見通しを教えてくださいなればと思います。

- GIGA スクール構想実現のために、昨年12月に校内LANの回線工事が行われ、あわせてホームルーム教室を中心とする36か所にアクセスポイントが設置されたところです。先日も、府教育庁から1人1台端末の環境整備のための緊急調査があり、着々と進められております。1人1台の環境が整うのは、来年度の途中になると思われそうですが、ハード面での環境整備が進む中、ソフト面の整備も急ぐ必要があると考えています。授業での活用について先進事例を研究したり、アクセスポイント使用に関する申し合わせなどのルール作りをしたり、まず使ってみることも大切ですが、最小限のガイドラインの作成は必要と考えています。三丘生の学習活動に上手に活用していきたいと考えています。

②今はITデジタルの必要性が増してきましたので、デジタルツールも迅速に開発進化しております。海外オンライン研修の中で、Google Spread Sheet など、遠隔でも皆が一つの画面に共同作業できるツールを使用することにより、海外の生徒と同時作業を行う一体感を体験できると思います。

これからも新しいデジタルツールを取り入れて頂き、社会に出た時に三丘生のデジタル能力に繋がることのできましたら幸いです。

- G Suite を導入したことで、Google スプレッドシートや Google スライドなど、共同作業できるツールを使えるようになり、教員、生徒も積極的に活用しています。リーハイ大学のオンライン研修では、Google スライドを大学生と一緒に作りました。また、Google フォームで簡単にアンケートを集計できるようになり、教員が様々な場所で活用するのはもちろん、生徒たちも課題研究の際、簡単に100名単位のアンケート結果を得ることができるようになり

ました。これからもどんどん活用していきたいと思っています。

### ③オンラインを活用した教育

コロナ禍の中、企業でもそれを押し返す損害保険ジャパンは2020年10月に全社員がオンラインで学べる企業内大学「損保ジャパン大学」をつくりました。同社の既存の研修コンテンツを一元化しただけではなく、企業の変革やグローバル展開などについて少人数で議論を深める場をオンライン上で設けたのです。NECも時を同じくして2020年10月から、ビジネスSNS（交流サイト）、他社が展開する動画学習プラットフォームを社員教育に使い始めました。コンテンツは論理的思考やマーケティングなどメニューは多義にわたっているとのこと。また米国のアマゾン・ドット・コムは社員10万人に、1人あたり70万円強を投じ（25年まで）、再教育に着手しました。企業全体の底上げに取り組んでいます。（引用・参考：日本経済新聞210111朝刊）

以上のように、国内外の優位な企業でも、この先を見通し再教育や研修に力を注いでいるようです。大阪府の、日本の高校のトップランナーとしての地位を築いてこられた三国丘高校では、すでに授業などにおいてオンラインを活用されていますが、引き続き、さらに大きな一歩を前に踏み出す力を蓄えて形に変えていただきたいと考えます。（公立の学校ですので、ネット環境や予算など様々な制約があるのは承知していますが）

とくにデジタルネイティブと呼ばれている生徒から、オンライン最前線の情報や活用について聞いてもいいのではないのでしょうか。

- ▶ 生徒たちと接していて驚くのは、主にアプリに関する知識です。新しいアプリをよく知っていますし、自分たちで絵やロゴを描いて、それをさっとデータ化してプレゼンに使う、など短時間でやってしまいます。一方で、アプリ以外のデジタルツールに関する知識や、著作権、きちんとしたメールの送り方などのリテラシーはほとんど持たずに入学してくる、というのが現状です。Word、Excel、Power Point、Googleの共有機能などの使い方をほとんど知りませんし、LINEには慣れていても普通のメールは書き方を知りません（SGPではビジネスメールの送り方を研修します）。三国丘高校ではそのあたりを見越して、情報科と課題研究の授業CSが計画的に指導していますが、小学校、中学校でしっかりそのあたりを学ばせてほしい、というのが本音です。今回のICT化促進で、新入生が基本的な使い方を学んでくれることを期待しています。

#### 4. ①1年生の学年通信について、文理の選択（科目選択も含めて）が早すぎることはありませんか？

せめて冬休み明けを最終締め切りにし、冬休み中に熟慮させても良いように思います。

生徒や保護者から「早すぎる」という意見はないのでしょうか？

もちろん、高校入学時にすでに決めている生徒もいるでしょうが、高校で初めて学習する科目もあり、そのような科目に興味をもち、考えが変わることもあると思います。

例年この時期に決定させているので今年度も、というよりは、迷っている生徒のためには、文

理それぞれの特徴、利点などの情報を与えながら、締切を何回かに分けて生徒たちに納得のいく選択をさせるのが良いように思います。

- 第2学年の4月時点から文理分けをする場合、講座編成（クラス分け）やその後の微調整の業務量を考えると、11月下旬には文理選択を締め切る必要がどうしても出てきます。生徒には、11月に文理選択を実施するということを、合格発表後の説明会、4月のオリエンテーションにて「文理選択は11月にあるので、4月から自分の進路をよく考え、また保護者の方とよく話し合うように」と十分に説明、指導をしています。1学期の期末考査後には「三丘セミナー」を実施しており、また夏休みにはオープンキャンパス等に参加させ、自身の進路を考えるよう進路指導部と協力しながら、進路指導をしています（今年度はコロナの影響でオンライン型のオープンキャンパスに参加するよう指導）。さらに11月には進路面談期間を設け、担任が生徒と必ず進路面談をすることとしています。現時点では「文理選択の時期が早すぎる」という意見は伺っていません。

## ②「三丘パスポート」

前回は述べました非認知型能力に関してですが、回答で「三丘パスポート」に着手されたとのことを知りました。ぜひこの続報をお聞かせいただきたいと考えます。

- 各学年において「三丘生の進路指導プログラム」に位置付け、総合学習とリンクさせて実施しております。1年生では、高校生活への抱負に始まり、毎日の生活や勉強の記録とその振り返りを折々でするとともに、大学進学に向け、大学や学部調べなども行って、それらをファイリングして1年生における活動のすべてをまとめています。2年生では、学年の初めに学習面・生活面での目標を立て、学習習慣などの振り返りも各学期末に行っています。学年末には、学年当初に立てた目標の振り返りを行うとともに、2年生における活動のすべての総括を予定しています。今年度は休校期間などもあったため、当初の予定通りというわけにはいきませんでした。次年度は、76期生が中学校から各校で作成した「キャリアパスポート」を持って入学してきます。高校でも継続して取り組めるように、「三丘生の進路指導プログラム」とリンクさせながら、有機的に実施していきたいと考えております。

## 5. 3年生の「進路だより」は非常に先生方の熱意が伝わる内容に感じます。

もちろん1年生、2年生の学年通信もいつも非常に分かりやすく、生徒に役に立つ情報が書かれています。保護者の手には確実に届いているのでしょうか？

印刷物の場合、すぐに親に渡さない生徒もいると思いますので、各学年の掲示板にパスワード付きで掲載したらいかがでしょうか？

- 今年度の1年生では、主に進路指導、生活指導、予定表、各先生からの思いの4点を中心に

作成しました。中身は濃いものになっていたと思います。生徒向けであると同時に、保護者の皆様に知っておいてもらうことも掲載していただきましたので、届いていないということは問題点であると認識していました。各担任からは、生徒に必ず保護者に渡すよう指示しながら配布はしておりました。その渡す作業が大事であることも伝えていました。渡す際に、学校の様子を話すきっかけ、または聞くきっかけになり、生徒（子ども）と保護者のコミュニケーションが生まれることが大事だと伝えていました。しかし、現実として届いていないことが多数であるならば、今後導入されるメーリングリストを利用してもよいかと考えております。

- 第2学年 74期 としましては、学年通信を「三国丘高校 ホームページ 74期 ブログ」に随時掲載しております。次年度からは、保護者用メールが導入される予定ですのでそこで広く周知していくつもりです。
- 3年：保護者に届いているかどうかは調査したわけではないので分かりません。学年連絡会や文化祭の動画配信、写真販売の案内や卒業式など、大切な内容についてはプリントと学年ブログ（ホームページ）で連絡してきました。

#### 6. 文化系クラブの活動には特記すべきものはないのでしょうか？

- 今年度は文化系クラブのコンクールやコンテストの実施が非常に少なかったのですが、その中でも、書道部生徒2名（2年生）が大阪府高等学校芸術文化祭に入賞いたしました。

#### 7. 第一回学校運営協議会でご意見がありました「保護者から意見の機会が少ないのでは」については、PTA や私のほうには、改善してほしいという声を頂いておりません。

コロナの影響により授業参観の中止や生徒だけの文化祭は止むを得ないことで、学校に行く機会が少ないことには、理解を示していらっしゃる保護者が多いと思いますので、ご報告させていただきます。

現行、学校のホームページで保護者の意見を募集されていらっしゃるし、PTA のホームページでも双方向性で保護者のコメントを入力できる仕組みとなっております。令和3年度に向けてメーリングリストの導入もできればと思います。

- 今年度は、通常の状態での行事が実施できず、体育祭は中止、文化祭は生徒のみの1日開催となりました。また、学校における進路指導等、情報提供をさせていただく場としております学年連絡会につきましても、オンラインも併用しましたが、人数を制限しての開催とさせていただいたり、授業参観も中止としたりしました。保護者の方々には学校にお越しいただいて、子どもたちが一生懸命取り組んでいる様子を見ていただく機会があまりなく、とても残念に思います。保護者の方への情報提供等については、PTA の皆様からのご提案があり、現在連携してメーリングリ

ストの導入に向けて調整を行っているところです。

8. ①コロナ感染拡大防止対策で、教職員の皆様、生徒の皆様も大変な思いで過ごされていると思います。今年度もあと少しとなりますが、最後まで頑張ってもらいたいと思います。来年度は、平常の学校生活を送れればと祈っています。

②コロナ禍での先生方の対応は大変かと思いますが、ぜひ三国丘にとって、チャンスだととらえ、チームワークで乗り切ってください。生徒たちのチャレンジ精神と親（保護者）の思いがあるでしょうが、挑戦する気持ちを育てていただきたい。

- 年度末が近づき、1年間を振り返る時期となっています。令和2年は、新型コロナウイルス感染症のために、これまでと全く違った1年となりました。私たち教職員は、毎朝生徒の皆さんを迎えることができることを、生徒の皆さんも登校して仲間と共に勉強や部活動ができることを、「ありがたいこと」であることに気づいた1年でした。

振り返ってみると何かと制限の多い1年でしたが、その時々でできることをみんなで知恵を出し合い、工夫をしながら、夢中で取り組んできた1年間であったと思います。12月の修学旅行も大阪モデルの赤信号の点灯中でしたが、実施することができました。今思えば奇跡のように感じます。そういう意味では、教職員は達成感を感じているのではないかと考えています。

「G Suite for Education」の導入によって、生徒への連絡や意見集約の速度が飛躍的に高まりました。まだまだ可能性を秘めていると考えています。

今後の見通しについては、まったくわかりませんが、どんな状況でも感染症対策や安全に配慮しながら、できることを全力でやっていくしかない。この1年で教職員や三丘生が得たものは、そんな前向きな気持ちではないかと感じています。